



高座清掃施設組合は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

高座清掃施設組合

SDGs 取組評価書

令和5（2023）年度

高座清掃施設組合

令和6年6月

## 目次

<b>1. SDGs取組の評価</b> .....	1
(1) 個々の取組における総合評価.....	1
(2) PDCAサイクルにおける評価.....	1
(3) 評価の公表.....	1
<b>2. SDGs個々の取組の評価</b> .....	2
(1) 廃棄物処理施設の適正管理.....	2
(2) 周辺生活環境の保全.....	2
(3) 廃棄物の減量・資源化の推進.....	2
(4) 温室効果ガスの排出抑制.....	3
(5) エネルギーの有効活用.....	3
(6) 環境学習の推進.....	3
(7) 地域との信頼関係.....	4
(8) 旧施設解体事業.....	4
(9) 周辺環境整備事業.....	4
<b>3. あとがき</b> .....	5

# 1. SDGs取組の評価

## (1) 個々の取組における総合評価

令和5年度、高座清掃施設組合では、9件の取組を定め、それぞれの取組の実行、管理を行いました。

個々の取組では、高座クリーンセンターを安全・安心な施設として運営管理することや、各種分析等の公表、低炭素・循環型社会形成に向けた地域づくり、質の高い環境学習など、SDGs 17のゴールに向けた取組が着実に実施できていると実感しています。

また、周辺環境整備や、旧施設の解体等の各種事業においても、地域住民の皆様のご理解、ご協力によりスタートすることができました。

高座清掃施設組合が定めた9件の取組は、令和5年度において、全ての事業で実施、確認を行うことができました。

## (2) PDCAサイクルにおける評価

令和5年度の取組については、令和5年4月に策定した高座清掃施設組合SDGsアクションプログラム(Plan)に基づき、SDGs取組一覧に準じて実行(Do)して参りました。本年においては、策定初年度ということもあり、今後のSDGs取組評価の基準となる実績作りを主な目的として取り組み、評価(Check)においては、指摘事項がなかったことから、引き続き令和6年度の行動(Action)につなげていきます。

## (3) 評価の公表

令和5年度取組の評価(本書)は、高座清掃施設組合ホームページに掲載し、公表します。

## 2. SDGs個々の取組の評価

### (1) 廃棄物処理施設の適正管理

令和5年度に実施した各種分析においては、全ての項目で環境基準値を満たしております。

じん芥処理施設にて、令和5年度に実施したダイオキシン類、排ガス、ごみ質、焼却残さの熱しゃく減量、焼却飛灰処理物溶出試験及び鉛溶出試験、排水分析において基準値の超過等は無く、適正な施設管理を行いました。

令和5年度においては、内容物検査職員の緊急時（火災警報）の対策方法及び最終処分場浸出水処理施設の運転マニュアルの見直しをしました。

### (2) 周辺生活環境の保全

令和5年度に実施した周辺ダイオキシン類測定において、令和5年7月21日に実施した環境水分析で、基準値超過が認められました。

本件は、試料採取の際に、土壌粒子やフミン質等に吸着して水に混入したものを鎮静化させずに採取を行ったため、底部の土壌を巻き上げてしまったことによるものです。

その後、再度サンプリングを実施した結果、基準値以内であることを確認いたしました。

本件は、サンプリング時の試料採取方法について問題があったため、サンプリングの際は、採取の状況をしっかりとチェックする体制を整えることとし、対策といたします。

騒音・振動測定、臭気測定において、全ての項目で環境基準値を満足いたしました。

今後も継続して周辺生活環境の保全に努めてまいります。

### (3) 廃棄物の減量・資源化の推進

令和5年度のごみ内容物検査回数は、休日を除き毎日実施し、資源物及び搬入不適物の搬入抑制を実施いたしました。

具体的には、資源物及び搬入不適物を持ち込んだ事業者に対し、口頭注意及び該当品目の持ち帰りを指示いたしました。

廃棄物の受入基準については、現状排出されるごみの性状と焼却等の処理状況を確認し、多様化するごみ排出の現状に合わせた現受入基

準の適正性について検討を実施しました。

(4) 温室効果ガスの排出抑制

令和5年度においては、クールビズ、ウォームビズの実施による空調機器の使用抑制、紙類の使用削減、節電の実施及び電気自動車の使用により省エネルギーの取組を実施し、温室効果ガス排出抑制を推進いたしました。

今後も、地球温暖化対策実行計画の取組と連携した温室効果ガスの排出抑制に関する取組を推進してまいります。

(5) エネルギーの有効活用

高効率ごみ発電施設において年間351日稼働し、ごみ焼却熱を有効活用して発電を行い、ごみ処理施設、水処理施設、環境プラザ、屋内温水プールで使用する電力の供給を行いました。また、ごみ焼却によって発生する余熱を屋内温水プール及び本郷老人福祉センターへ供給し、プール水の温めやお風呂のお湯として有効活用しました。

今後も、事業活動により生じた熱エネルギーを有効活用し、季節を問わずたくさんのお客さまにお楽しみいただけるよう、安定したエネルギー供給の取組を継続してまいります。

(6) 環境学習の推進

令和5年度の施設見学来場者は、団体見学46団体延1,606人、個人見学14,576人の受入れを行い、合計16,182人となりました。

また、受入れた団体見学のうち構成市内小学校の社会科学習として13校995人の小学校を受入ました。その他にごみ処理施設、環境プラザ、温水プールにて職場体験学習として近隣中学校3校9名の受入れを行いました。

環境啓発イベントとしては、ごみ分別釣りゲーム、リサイクル工作などの体験型イベントのほか、屋内温水プールと合同でSDGsフェスティバルを開催するなど、年間105回開催し、3,571人が参加されました。

その他、環境プラザ啓発活動コーナーを利用した環境啓発として市内ハザードマップの掲示や外来生物に関する、情報提供などを実施しました。

今後も、私たちの事業活動を見学いただくことで環境について学ぶ機会をご提供できるよう取組を継続してまいります。

(7) 地域との信頼関係

令和5年度は、当施設の地元団体である高座清掃施設組合処理場対策協議会及び根公害対策委員会に対し、定例報告会を2回（6月及び12月）に実施いたしました。

報告会では、私たちの事業活動に伴う各種分析結果の報告、施設利用者の推移、旧施設解体事業の進捗状況の他、当組合を構成する3市職員も参加し、各市のごみ減量化の状況説明が行われました。

今後も本定例報告会を継続し、構成市の清掃行政の一端を担う組合として、地域住民の皆さまにご安心いただけるよう信頼関係の構築に努めてまいります。

(8) 旧施設解体事業

第二清掃処理場解体工事は、令和5年6月に着手し令和7年度に完了するように進めています。

令和5年度の工事は、関係機関との協議に時間を要したことから、進捗が遅れています。

令和6年度は、清掃処理場の設備、建屋解体などを実施します。

施工にあたっては、周辺環境に影響がないようアスベストやダイオキシン類等の暴露・飛散防止を徹底し、令和7年度の解体完了に向け工事を進めてまいります。

(9) 周辺環境整備事業

本郷ふれあい公園（第二工区）整備工事は、令和5年度に敷地の一次造成、既存農業用水路の改修を実施しました。

令和6年度は、敷地造成、擁壁、雨水貯留施設等の工事を施工します。

公園整備は、防災機能を備え、地域に寄り添い、自然と動植物に触れあえる施設として、令和8年度の供用開始に向けて、引き続き工事を進めてまいります。

### 3. あとがき

私たちSDGs推進チーム2023は、令和3年度に創設された初代SDGs推進チームが試行錯誤を繰り返し築き上げた高座清掃施設組合SDGsアクションプログラムを継承し、これを有効に活用するために職員の先頭に立って行動する、いわばSDGsの伝道師になることが主な役割でした。

令和5年度は、取組の開始年度ということもあり、初めは、過去の実績、比較対象がないことで、暗中模索の中、取組の有効性に疑念を抱くこともありました。

しかし、そのような状況下においても私たちSDGs推進チーム2023一同は、過去の実績がどれ程素晴らしい結果であろうともSDGsが目標とする地球の再生に終わりはなく、たとえ今は微かな一筋の光しか見えなくても、光を灯し続けている限り、それは地球の未来へと続く道の先を照らす光の道標であると信じて、光の先へ向かって立ち止まらずに進み続けて行く必要があります。そのために私たちがやるべきことは、過去を振り返ることではなく、自らの行動で地球の未来を閉ざそうとする暗闇の中へ勇気を持って推して参ることであると確信しました。そして、SDGsに示された17のゴールが目指す終着点、その先に広がる真の未来を照らし出すための光は、一人一人が自然の、地球のあらゆる生命の未来のために考えた自分だけの「18番目のG」であることに違いないというひとつの答えにたどり着きました。

高座清掃施設組合SDGsアクションプログラムを通じて私たち職員一人一人が「18番目のG」という光を心に灯し、新たにSDGs推進チームとなった職員が新たな光を灯すことで、一筋のSDGsの光に「18番目のG」が放つ光が番（つが）い、その光は闇を切り裂く閃光となり、それはやがて収束し永遠に輝き続ける巨大な光の結晶となって輝きを放ち、遙か彼方を照らし出したとき、その場所に広がる光景こそ、私たちが心に灯した全てのGの光に照らされた緑あふれる地球の未来となって続いて行くのです。

*'Special G' is Don't Stop for Re Birth = Live Earth*



※ 本評価書は、高座清掃施設組合が行う事業を、高座清掃施設組合SDGsアクションプログラムに合わせて評価したものになります。個々の分析結果等については、高座清掃施設組合ホームページよりご覧ください。

---

---

## 高座清掃施設組合SDGs取組評価書

令和6（2024）年6月  
発行者：高座清掃施設組合  
編集：SDGs推進チーム2023

---

---